

優秀賞

## みんなを守る交通安全

北九州市立江川小学校 5年 山本 翔吾

「右よし、左よし、後方よし」

ぼくは今、交通安全子供自転車大会に出場するために、交通安全協会の嶋田さんと畠中さんに教わりながら練習をしています。

交通安全子供自転車大会とは、学科と実技があり、交通規則に関わる問題を解き、実際にその規則を守って運転して点数を競うものです。

ぼくがなぜ、自転車の交通安全を教わっているかということ、自転車で走行しているとき、スピードを出しすぎて、けがをしたことがあります。それで、規則正しく自転車を運転して、歩行者や自動車や他の自転車にぶつからないようにし、けがをしない、させないようにしようと思ったからです。

ある日お父さんに、自転車で事故をしたことがあるか聞いたところ、お父さんは「止まっている自動車や、飛び出した自動車にぶつかったことがある。」と答えました。その時にお父さんは、よそ見をしないことや、自動車の動きを予測することを学んだそうです。けがをしなかったそうですが、事故を起こす前に防ぐことが大事だと感じました。

ぼくは、この大会の練習を生かして、歩道では歩行者優先を守ることや、交差点では、十分安全確認をして横断すること、自動車や歩行者の急な飛び出しを予測することや、自転車を走行する前は必ず点検することを心がけようと思います。また、友達にも同じように、ぼくが心がけている安全確認の方法を伝えていきたいと思います。

お父さんやお母さんには、自動車を運転するときに、自転車や歩行者の動きや飛び出しを予測して運転してもらいます。

ぼくは、事故でけがをしたくないし、周りの人にもけがをさせたくありません。これからも交通安全について考えていきます。